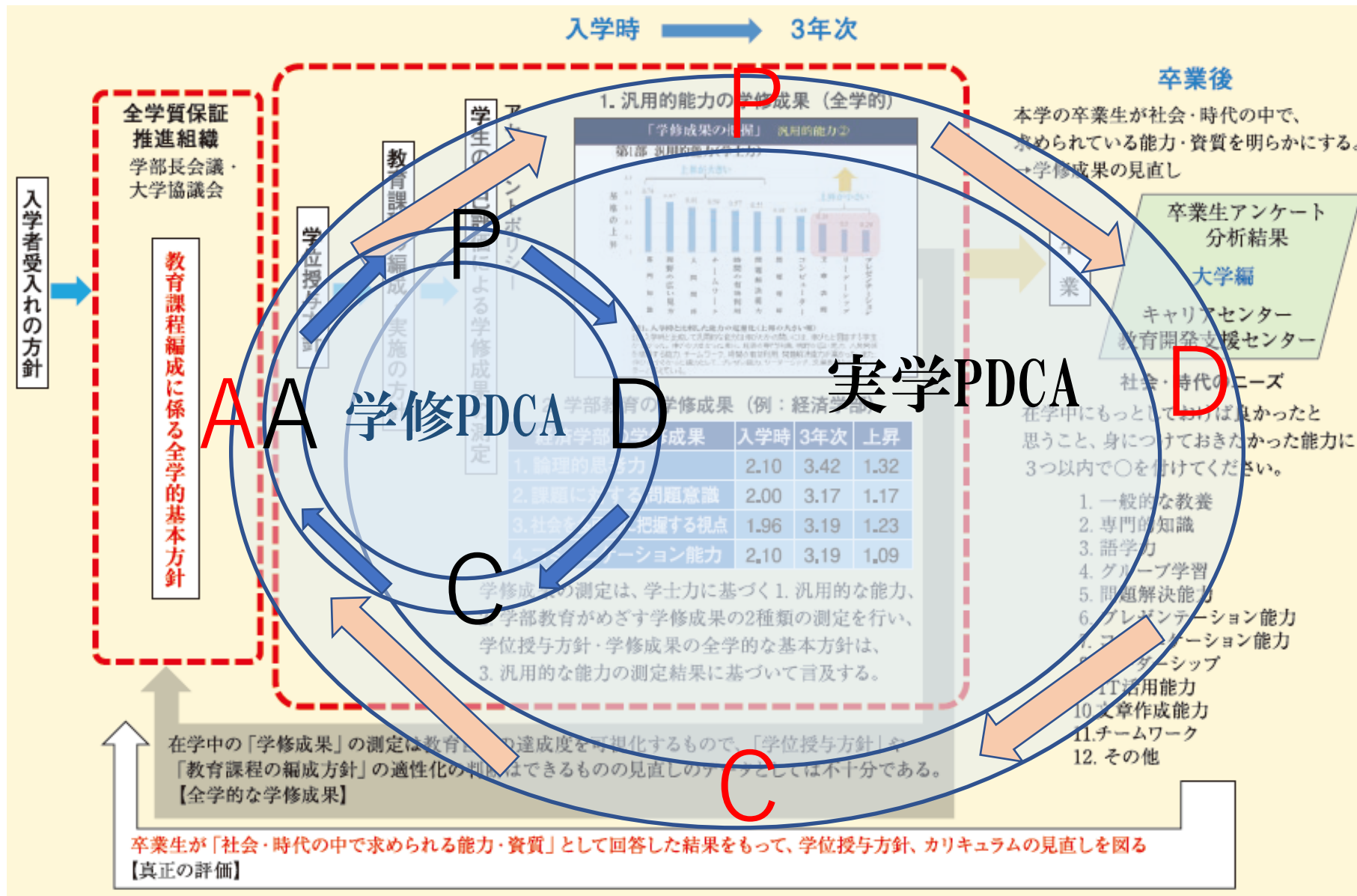


教育の質保証の仕組み



入学時 → 3年次

入学者受入れの方針

全学質保証
推進組織
学部長会議・
大学協議会

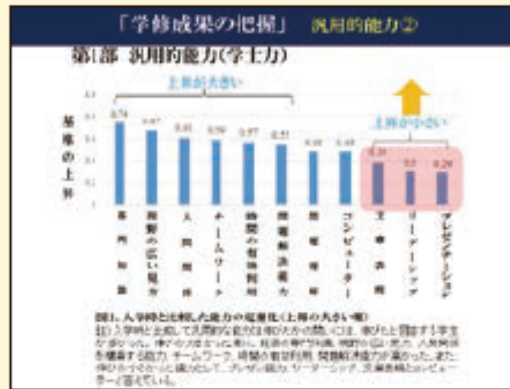
教育課程編成に係る全学的基本方針

学位授与方針

教育課程の編成・実施の方針

学生の自己評価による学修成果の測定
アセスメントポリシー

1. 汎用的能力の学修成果 (全学的)



2. 学部教育の学修成果 (例: 経済学部)

| 経済学部の学修成果 | 入学時 | 3年次 | 上昇 |
|------------------|------|------|------|
| 1. 論理的思考力 | 2.10 | 3.42 | 1.32 |
| 2. 課題に対する問題意識 | 2.00 | 3.17 | 1.17 |
| 3. 社会を多面的に把握する視点 | 1.96 | 3.19 | 1.23 |
| 4. コミュニケーション能力 | 2.10 | 3.19 | 1.09 |

学修成果の測定は、学士力に基づく1. 汎用的な能力、2. 学部教育がめざす学修成果の2種類の測定を行い、学位授与方針・学修成果の全学的な基本方針は、3. 汎用的な能力の測定結果に基づいて言及する。

在学中の「学修成果」の測定は教育目標の達成度を可視化するもので、「学位授与方針」や「教育課程の編成方針」の適性化の判断はできるものの見直しのデータとしては不十分である。
【全学的な学修成果】

卒業生が「社会・時代の中で求められる能力・資質」として回答した結果をもって、学位授与方針、カリキュラムの見直しを図る
【真正の評価】

卒業後

本学の卒業生が社会・時代の中で、求められている能力・資質を明らかにする。
→学修成果の見直し

卒業

卒業生アンケート
分析結果
大学編
キャリアセンター
教育開発支援センター

社会・時代のニーズ

在学中にもっとしておけば良かったと思うこと、身につけておきたかった能力に3つ以内で○を付けてください。

1. 一般的な教養
2. 専門的知識
3. 語学力
4. グループ学習
5. 問題解決能力
6. プレゼンテーション能力
7. コミュニケーション能力
8. リーダーシップ
9. IT活用能力
10. 文章作成能力
11. チームワーク
12. その他